

令和５年第９回田原市教育委員会定例会

１ 開会 令和５年９月 ２２日 午後１時３０分

２ 閉会 令和５年９月 ２２日 午後２時２６分

３ 会議に出席した委員
太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員

４ 会議に欠席した委員

５ 会議に出席した職員	
教育部長	増田直道
教育総務課長	大羽浩和
学校教育課長	峠 尚良
生涯学習課長	藤井 透
スポーツ課長	鈴木雅也
文化財課長	天野敏規
図書館長	是住久美子
教育総務課長補佐兼係長	木村真一

議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第9回定例会議事日程

日 時 令和5年9月22日（金）

午後1時30分

場 所 北庁舎3階 302会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 田原市議会第3回定例会一般質問等について
 - (3) 教育委員会の事務の点検・評価の公表について
- 5 その他

教育長

開 会 午後 1 時 30 分

本日は、ご多用のところご出席くださいますありがとうございます。

ただいまの出席者は、5 名であります。定足数に達しておりますので、令和 5 年田原市教育委員会第 9 回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と田中委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。表紙の次のところ、教育委員会報告という資料をご覧いただきたいと思います。

9 月下旬を迎えているのに、連日 30 度を超える真夏日が続いているという、ちょっと非常に異常な気象状況になっているのかなと思っています。

こちらは、幸いなことに大雨の被害が今のところないですが、今も線状降水帯が発生して大雨で、非常に困っている地域があったり、台風もこれから来るシーズンということで、気象が非常に厳しいのと、日本列島の気象そのものが変わったと捉えざるを得ないのかなと、そんな状況でございます。

新型コロナウイルスの感染が、実は少し広がっている状況でございます。学校からの報告が教育委員会に上がって来るのですが、9 月になってから市内でも何校かが学級閉鎖になっております。9 月 1 日から 2 学期が始まっているところなのですが、各学校には暑さ対策もコロナ対策も含めて、子どもたちの健康管理と安全管理には、万全を期してもらうようお願いしているところでございます。

学校教育について言いますと、2 学期が一番長くもありますし、しっかりと腰を据えて教育活動を進めることができる時期かなと捉えております。各学校のこれからの取り組みに、大いに期待しているところでございます。来週から学校訪問が始まります。委員の皆さま方にも、何校かに出向いていただくこととなりますが、私どもとしても、学校教育活動の充実ぶりを是非楽しみに手掛けていきたいと考えております。

資料をご覧いただきますと、9 月ということで、市議会の定例会がちょうど開かれている最中でございます。議会につきましては、このあと事務局のほうからも報告がございますので、私からは、1 点に絞って報告をさせていただきたいと思います。

先月と同じように表敬訪問が何件かございました。今回の訪問で言いますと、夏の全国大会がちょうど終わった後ということで、好成績を残した選手の皆さん、子どもさんたちがその報告に来てくれると、そのような表敬訪問でございました。8月24日は、バドミントンの小学生の大会全国3位。8月29日は、ソフトテニス的高校生がインターハイで優勝。9月13日は、中学校の全国大会陸上競技で、女子4×100メートルリレーが2位に入り、個人でも100メートル3位に入っています。大変な活躍ぶりで驚いているところですが、こういった子たちが、高い目標に向かって全身全霊をかけて努力している、その結果、このような良い成績が出ている。本当に心から称えたいと感じております。

一方で、ちょっと別の表敬と言うのでしょうか、9月14日に全日本サーフィン選手権に出場する選手の皆さんが、市内より13名と結構多くの方出られるのですが、年齢別の大会ということで小学生から50代のシニアの方まで、大勢の方が報告に来てくださったのですが、この人たち、本当に一生懸命競技に取り組んでいるのですが、競技そのものが好きで楽しむということの方に主軸がおかれているような、そんな感じがいたしました。スポーツに一生懸命取り組んでみえる方たちの様子を見てみると、先に全国に上位に入って報告に来てくれた子たちのように、アスリート系の本格的にしっかり取り組んでいるという人たちと、それから自分の健康づくりや嗜好などを進めていく、スポーツを楽しんで取り組む人たち、そのように二極化してきているなど、このごろ強く感じております。

私の願いとしては、田原市民全体がどんな形にせよスポーツを通して、心身の健康を進めてもらえると嬉しいなと思います。多くの方たちは、健康増進であったり趣味性のもので、好きな時間を過ごして豊かな生活をすすめていく、そのようなことが多いのかなと考えております。

以前からたびたび話題になっております、中学校の部活動を地域に移行していくという、そのことにもこれは大きく関わってくことで、以前にも触れさせていただいたと思うのですが、中学生の部活動自体も、今私が言ったような二極化の方向で、今後おそらく進んでいくのであろうと。そうすると、受け皿となる地域の団体であったりクラブであったり、仲間であったり、そういった方たちの在り方。それから、中学生の参加の仕方、その辺のことも、今の大人の人たちのスポーツへの取り組み方ということが、非常に大きく影響してくるのかなと。これから中学生の地域移行を進めて行くうえで、そのあたりのことをよく考慮しながら、仕組みを構築していくことが大切になっていくのかなと。そんなことを改めて感じた次第でございます。

私からの報告は以上とさせていただきます。

教育長

何か質問等がありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告、報告事項を終わります。

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員の皆さま方の連絡報告事項を順次お願いしたいと思います。

太田委員

太田委員からお願いいたします。

よろしくお願いします。

私は、9月9日のトライアスロンの開会式に出させていただきました。今年は、大変好天に恵まれ、西日がまぶしい状態からスタートしましたがけれども、昨年のように天候の心配もなく、盛大な開会式であったと思います。

例年、この開会式に出席させていただいて、地域ぐるみでおもてなしをしようとする意気込みだとか、旧渥美町が中心で地域の活性化をしようとする、そのような雰囲気が伝わってくる開会式であったというふうに思います。

特にアトラクションで、今年はフラダンスとわかたか太鼓、Last lotの演奏等ありましたが、地域で活動している人たちが、アスリートを迎えようとするそのような内容でとてもいいなと思いました。今年が37回という、大変伝統ある大会ですが、今月にはオフロードトライアスロン、それから6月にはアイアンマンという、中部・北陸実業団駅伝だとか渥美半島駅伝等、この渥美半島を会場とした大会がいくつかあるわけですが、ぜひこのトライアスロンについては、今後も継続していただきたいなということを感じました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

続いて、金田委員。

金田委員

僕も同じく、トライアスロンの開会式とトライアスロン当日観戦をさせていただきました。観戦については、この厳しい残暑の中、気温・水温・風に恵まれて、その中としては最高のコンディションの天気だったのかなと感じました。また、コースコンディションもかなり良くて、選手も気持ち良く景色を見ながら走ったのではないのかなとそのような印象を受けます。

自転車置場がコンベンションホテルの駐車場に戻ったということも、大きな要因なのかなと思ったのですが、やはり大会前に災害が起きなかったということが、コースコンディションが良かった大きな要因なのかなと感じました。

また、安全面の配慮ということ、毎年思うのですが、去年からスタートが20名10秒間隔のローリングスタートになったということと、

教育長

高崎委員

バイクの折り返し地点と合流地点に人を置いて、常に安全に注意している、また、うまく折り返せるように、あの狭い道においても最善の方法で行っているなど感じたのと、ゴール手前直前の段差についても気を配って目視を行ったりとか、そういったところも常に注意して作ってくれているということに好感を得ました。

走っている選手を見ていて、本当に苦しそうなのですが、コロナ禍が明けてきたということで、家族や友人、仲間からの声援を大いに受けながら走っている姿というのは、何かそこで力をもらって走っている、そのような選手の姿を見て、とても嬉しそうというか幸せそうだったなと感じました。

つくづく思うのは、これだけ準備しても天気にはかなわないということを感じているのですが、これだけいい天気でできたのは、やはりスタッフの皆さんの願いがかなったのかなと思いました。本当にお疲れ様でした。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いします。

私は、教育委員としての出席したものは、この期間はありませんでした。

まず、3点申し上げたいと思います。

1点目は、別の団体で、以前ですと田原市教育委員会も関係してみえました、豊橋の芸能フェスティバル（8月23日）、こちら団体役員ということでお手伝いにお邪魔をさせていただきました。田原市から出たいということでお申し出があったと伺いました。今年は、コロナ明けということで、午前中に限定をして豊橋市のみで開催をいたしました。ですが、後援として、もちろん田原市教育委員会の名前も入っておりしましたので、団体の代表の方に公平性を保っていただきたいという旨のお話をさせていただきました。

2点目です。トライアスロンは、所用にてご無礼をさせていただきました、代わりに教育委員会とは別でございますが、主人が10日の表彰式にお邪魔をさせていただいて、教育長さんとお話をさせていただいたり、当日の臨場感を欠席ながら味わせていただくことができました。

そして、最後3番目ですが、先ほど教育長さんがおっしゃったとおり、部活動の在り方というのが見直されていると思います。ですが、3人とも子どもが成人しておりますけれども、どの子も熱心に部活動をやっております、特に3番目は全日中に連れて行っていただいたりとか、ソフトテニスにとっても情熱を燃やしていた世代です。今になって、大人になって学校を卒業して進んだ高校、それから職業、年齢を別にしてみんなで相談してコートを取り合ったり、楽しみながら成

人してからでもテニスをしている姿を見ると、こうして地域に根づいて仲間づくりができていける、この多感な時期に一生懸命やったこの思い出というのが蘇っているようで、これもすごくいいことだなと思って拝見しております。

最後になります、今年、私は教育委員を4年間務めさせていただきまして、どうもありがとうございました。とりあえず、本日、任期としては最後になります。また、教育委員会も10月から新たな方針で変われると思いますが、とりあえず、一期目は本日で終了させていただくということで、まず、受けさせていただくときに、本当にお世話になった方との久しぶりの再会で、子どもが3人義務教育でお世話になり、成人をして皆さんにお世話になったからという気持ちが一番大きいのですが、こうして4年間務めさせていただき、教育長さんはじめ皆さんのご努力を拝見するにあたり、自分自身の気持ちがすごく変わってまいりました。その中で一番自分が最近感じているのが、やはり自分が子育てをした頃と今の環境も、保護者の方の考えかたもかなり変わってきているのだということも感じております。その中で、自分がまた新たな目標としてどうあるべきか、最近そういった中で自分を見つめ直そうと思った矢先ですが、こうして1か月間参加させていただくことがない考える機会もございまして、自分がまたもし次に受けさせていただくとしたら、新たな目標ができました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育長

ありがとうございました。

田中委員

最後に田中委員からお願いします。

私からは2件報告いたします。

皆さんと同じように、9月9、10日に伊良湖トライアスロンの前夜祭と大会の観戦をしてきました。

私の記憶ですと、毎年天候に恵まれなかったような印象があったのですが、今回は両日とも心地よい風の中のトライアスロン日和だと思いました。

大会当日は、トライアスロンに興味がある中3の息子と一緒に去了。初めて間近で見て思ったのですが、スイムは競泳と全然違うなと思いました。競泳は、コースロープで区切られて1人コースで、他の選手と触れ合うことはないのですが、スイムですと他の選手とぶつかったり、コースを奪い合ったり駆け引きがあり、周囲を気にするのだなと思いました。呼吸法も、競泳は横でしますが、スイムでは進行方向を確認するために、前向きのヘッドアップというテクニックが必要だそうです。

バイクは、選手がそれぞれカスタマイズしたいろいろな種類があり、タイヤによって走行時の音が違ったり、ハンドルの形状もさまざまで、息子が興味津々で本当に喜んでいました。来年も行きたいと申してお

教育長

教育部長

高崎委員
教育部長

りましたので、来年も一緒に観戦に行くと思います。

時間の都合でランの応援はできずに、フィニッシュゲートも見られなかったのですが、大変盛り上がったと思います。

息子が年齢のために参加もボランティアもできませんでしたが、とても勉強になり刺激にもなり、3年後を目指してバイクのメンテナンスをしたり、気持ちがとても高まっていました。

2件目です。9月20日に福江中学校の体育祭を見に行きました。お決まりの国旗掲揚や、行進やラジオ体操がなくて新しい形だなと思いました。詳しくはよくわかりませんが、暑い時期の練習に配慮したのかなとも思いました。ラジオ体操の代わりにジャンボリーミッキーを踊ったり、保護者参加の綱引きがあったりアットホームな様子でした。

競技は、学年毎1種目ずつと、選拔リレー、応援合戦があり、クラス一丸となってとても盛り上がり楽しんでいました。

閉会行事のあとに生徒会企画があり、大型トラックの荷台をステージにしてバンド演奏やカラオケがあり、高校の文化祭のような盛り上がりでした。その一部の企画として、お揃いのTシャツを作っていました。

福江中学校は、修学旅行の件もですが、生徒たちの意見をむげにせず、のびのびと活動をさせていただいてとても感謝をしております。こういった経験は、この先の人生にも生かされるのではないかなと思います。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項(2)「田原市議会第3回定例会一般質問等について」事務局から報告をお願いします。

それでは私から説明をさせていただきます。

一般質問に触れる前に、教育委員さんの人事案件の議案について、口頭ですけれども報告をさせていただきます。

前回の教育委員会におきまして、議案として説明いたしました「教育委員会委員の任命」に関する議案を、この田原市議会の令和5年第3回定例会に人事案件として上程いたしました。初日の8月31日に副市長の提案説明後、採決が行われまして、現職の高崎佐智江委員さんの再任の同意を議会でいただきましたので、高崎さんにおかれましては引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

以上が、人事案件の議案の報告でございます。

次に一般質問について、説明をさせていただきます。

お手元の資料をご覧くださいと、まず一般質問の一覧表と通告書の資料が22ページほどありまして、その次に山上議員さんの一般質問の要旨という資料があります。その2つの資料で説明をさせていた

できます。主な内容は一般質問の要旨であるのですが、まず、一般質問一覧表からご覧いただきたいと思います。

9月4日から5日までの2日間、本会議場にて行われまして、全員で8人の議員からご質問いただきました。質問には、代表質問と個人質問というものがあります。代表質問は、会期が決まっております、第1回定例会で市長が答弁すると決まっています。今議会では8人全員、個人質問という形で受けております。8人から受けまして、まず、9月4日は、1番として公明党田原市議団の辻史子議員から、子宮がん予防対策の取組みと、音声コードの必要性、この2点でご質問いただきました。

2番目として、自由民主党田原市議団の真野議員から、自然公園の利活用についてということでいただいております。

次が私どもと関係があるのですが、3番目に同じく自由民主党田原市議団の山上勝由議員から、大雨時の安全対策で、大雨時における災害対策本部の体制について、小中学校における休校等の対応についてと2点の質問をいただいております。この2つ目の質問が、私どもの担当でございました。

次に4番目に、市民クラブの柳元議員のほうから、カーボンニュートラル実現に向けた取組みについて。

5番目として、自由民主党田原市議団の内藤喜久枝議員さんのほうから、マイナンバーカードと健康保険証の一体化についてご質問いただいております。

次のページをご覧ください。

9月5日には、6番目ということで、自由民主党田原市議団の小川貴夫議員から、渥美半島の活性化についてということで、定住ですか公営住宅、事業承継、伊良湖地域の活性化等で4つの質問をいただきました。

7番目に、自由民主党田原市議団の小川金一議員から、産業振興施策ということで、主に農業関係のことで御質問を3点いただいております。

8番目に、青嵐会の岡本重明議員から、まちづくりについてということで、高齢者・障害者の市営住宅の関係、それから、市が出資した団体の財務管理についてということで、あつまるタウン田原という団体の評価関係についてご質問いただきました。

これまでが全体の説明ということでよろしくお願ひしたいと思います。

次に、先ほど申し上げました、山上議員の質問の要旨についてご説明させていただきたいと思います。

令和5年第3回定例会山上議員の一般質問ということで、私が答弁をしております。こちら一括質問・一括答弁方式です。

大項目として、大雨時の安全対策ということでもいただきまして。小項目の1番目は、大雨時における災害対策本部の体制で、これは災害対策本部ですので、防災局から答弁をしております。私からは、小中学校における休校等の対応についてということでご質問いただきまして、質問の要旨といたしましては、大雨等における休校措置及び安全な帰宅に向けた対応は、適切に実施すべきだけでも、記憶に新しいと思うのですが、6月2日の大雨のときの休校等の対応状況について聞かせてくださいという質問がありました。6月2日の大雨につきましては、6月1日の午前9時に教育委員会が休校及び給食を実施するか協議を行い、各学校へ通知を行っております。また、大雨に対する情報提供と注意喚起を行っております。午前10時半には、各学校の危険等発生時対処要領、危機管理マニュアルというものが学校にあるものですから、これに基づきまして6月2日の登下校について、降雨や雷、通学路の状況、近隣学校との情報交換の上、対応を検討するよう教育委員会から指示をしております。

各学校の対応は、この結果、給食後の一斉下校が4校、給食後保護者引渡しが11校、通常授業後の一斉下校が6校、通常授業後の保護者引渡しが1校という状況を説明しております。

また、一斉下校については、全ての学校で教員が児童生徒に付き添っているということも補足して答弁しました。

教育委員会のまとめといたしましては、各学校が危機管理マニュアルと教育委員会との情報交換等を踏まえて適切に対応し、全体的には、児童生徒を安全に帰宅させることができたと考えているということで閉めております。

次に2面をごらんください。

この1回目の答弁につきまして、こちらが実は山上議員の主なポイントだったのですが、再質問といたしまして、この6月2日の休校等の対応について、各学校がマニュアルに基づいて適切に対応をしたのはわかったけれども、一方で、今回のような大雨については、新たな課題もあったのではないかと。どういった課題があり、これに対してどう取り組んでいくのかを聞かせてくださいという、ご質問をいただきました。

答弁要旨として、まず、課題については2つの課題を確認したということで、1つ目が、大雨に対する休校や下校等の判断基準を準備しておく必要がある。2番目として、保護者へより円滑な引渡しができるよう、方法を見直す必要がある。この2点を課題として挙げまして、この2つの課題に対して、まず1番目の休校や下校等の判断基準につきましては、教育委員会と防災局において協議を行いまして、大雨がもたらす洪水や高潮等のおそれがある場合の避難情報、いわゆる警戒レベルの発表時の対応について、判断基準を設けました。

具体的な内容としては、警戒レベル3で校区に「高齢者等避難」が発令された場合や、警戒レベル4「避難指示」が発令した場合は、臨時休校や引渡し下校、安全確保のために学校に留めおく等の対応をとることとしました。

各学校が中学校区内で連携を取りながら対応できるように進めていくということを休校や下校等の判断基準の関係では申し上げました。

次に、保護者への引渡し方法ですが、迎えが混雑しまして、道路の通行に支障が生じた学校があったということを聞いております。この場合は、自家用車の通行する方向を指定したり、地区別に時差を設けたりするなど具体的な見直しを行っているところであり、こうした引渡し訓練を実施し評価することで、実効性のある危機管理マニュアルとなるよう改訂を重ねてきましたが、6月2日の下校時の状況を踏まえまして、更なる改訂を加えて安全確保に万全を期してまいりたいということを申し上げました。

まとめといたしまして、学校における災害対応の最優先は、児童生徒、教職員等の生命や心身等の安全確保である。引き続き、災害対策本部、各小中学校、保護者が連携して、迅速かつ適切な対応がとれる体制強化に取り組んでいくという答弁をして、以降については、ご質問等はなく、これで一般質問を終えたという形です。

以上で報告とさせていただきます。

ただいま事務局の報告がありました。

ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、次に(3)「教育委員会の事務の点検・強化の公表について」事務局から報告をお願いします。

それではこちらにつきましても、私から報告をさせていただきます。

教育委員会報告3 「教育委員会の事務の点検・評価を公表します」という資料をお願いしたいと思います。

こちらの説明につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第26条第1項に、教育委員会は権限の属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行いその結果の報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないという規定がありまして、これに続きまして令和5年9月議会で市議会に報告を行いましたので、本委員会で改めて報告と説明をさせていただくものでございます。

それでは、こちらの内容の2ページをごらんください。

2ページから3、4ページ、5ページ、6、7、8ページについてこれは概要ですので、簡潔に説明させていただきたいと思います。

まず、2ページの「行政評価とは」ということで、こちらの行政評価の目的が書いてございます。PDCAサイクルに基づきまして、継続的な行政の見直しと、質的改善を図るためのものでございまして、それぞれ施策評価と事務事業評価と分かれております。施策評価につ

教育長

教育部長

いてはまた別としまして、今回事務事業評価として上がっていますので、事務事業評価につきましては、施策を構成する事務事業ごとに担当課が現状分析・自己評価を行い、事務改善に結びつけるということで、毎年度実施しているということでございます。

3 ページ目の「行政評価の目的」として2つ上がっていきまして、コスト意識に基づく成果志向による行政運営と、行政の透明性の向上があります。

それから、3 番目として「総合計画と連動した行政評価」ということでございます。総合計画が市の基本的な計画ですので、これとの連動によって予算を編成し、評価して行っていく、施策評価してやっていくということですので、それが振り返るところです。

次の4 ページをごらんください。

4 ページから8 ページまでは、行政評価の概要について分野ごとに振り返ります。

教育委員会は、こちらの中段の表にありますとおり、分野別の5 番ですね、7 項目ありますが5 番の教育文化、こちらが教育委員会の関係になりますのでお願いしたいと思います。

4 ページの上段をご覧ください。

こちらが評価事業数と事業費となっております、教育委員会につきましては、こちらの5 番の教育文化の施策数は6 なのですが、基本事業は19で、その右が53評価数、この53の事業について評価をしていますのでご承知おきいただきたいと思います。

5 ページからは、この53の事務事業評価のそれぞれの結果についてまとめております。5 ページについては、事務事業53についての評価ということで、評価の見方としましては、5 番目の「極めて高い」から、1 の「かなり低い」までございまして、分野別の教育文化を見ますと、「極めて高い」が1 項目、「高い」が48項目、「普通」が4 項目という状況になっております。

次のページをご覧ください。6 ページをお願いいたします。

6 ページは、事務事業評価の結果の有効性でございます。こちらにつきましても同じく5 段階、「極めて高い」から1 の「かなり低い」の5 段階ありまして、教育文化につきましては、「高い」が32項目、「普通」が21項目という形になっております。

右側の効率性をご覧ください。

事務事業評価結果の効率性で、こちらにつきましても同じく評価としては、5 番目の「極めて高い」から1 の「かなり低い」とありまして、こちらの分野の教育文化をご覧ください。「高い」が4 項目、「普通」が49項目という形になっております。

次の、9 ページですが、改善の効果でございます。こちらにつきましても同じく5 段階に分かれておりまして、教育文化につきましては、

「高い」が14項目、3番目の「普通」が39項目ということでございますので、ご確認をいただければと思います。

肝心なのは、9ページからの一覧表、右横の一覧表をご覧ください。こちらが、先ほどから申し上げましたように、教育委員会の53の事務事業が、それぞれ表になったものの明細でございます。左から順に、事務事業名となりまして、その右側が事務事業の目的、その下に担当者の名前ですとか、先ほど申しました「高い」とか「低い」とか、事業の効果等が書いてありまして、その右が事務事業の現状、その隣が、4年度中に実施した課題解決や事務改善の取り組みの成果、右側が5年度に向けた今後の取組みという形になっております。

この表については、議会への報告を行い、この資料に基づきまして、この会期中の9月市議会において、行政評価勉強会というものが開催されております。課長と係長が出席するのですが、議員から通告を受けまして、この勉強会において、質問・回答が行われております。

以上で今回の事務事業評価関係の説明とさせていただきますけども、こちらの事務事業53とたくさんありますので、ごらんいただいて、後ほどご質問またはご質疑がありましたら、直接お問合せいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

教育長

今、なかなか目を通すのはたいへんですので、後日になっても構いません。何か気になるところやちょっと聞きたいことがございましたら、いつでも事務局へお問合せください。

それとは別に、今すぐで何かご質問等がありましたら、お受けしたいと思いますが。

太田委員

すみません、2ページのところに施策の評価の中で、下から3行目、「また一層市民の意見を聴取するため、3年に1回、行っている」と書いてあります。これは具体的に、各中学生にアンケートととられたということですか。3年に1回、中学生アンケートというものがあるのですが、私も初めて目にするものですから、どのように具体的に行われているのかなと。

教育総務課長

総合計画を10年前に作ったときに、計画策定にあたって、市民意識調査であったり、事業者アンケートや農業者アンケートなど、ここに書いてあるようなアンケートを行いました。そのときに、中学生へのアンケートを実施したと思います。その後、このアンケートを3年に1回ずつ定期的に市民意識調査という形でやってはいるのですが、中学生アンケートまでやっているかどうか、承知していません。

太田委員

3年に1回というのは、全部の調査やアンケートを言ったわけではないのですかね。

教育総務課長

一体的に全部をやっています。3年に1回、今でも、市民意識調査は、1市政施行以降、3年に1回はアンケート調査という形でやっています。それが市民意識調査であったりとか、事業者調査であったり。

太田委員
教育総務課長

そのような調査も行っています。

これは抽出でやるのですか。

抽出といいますか、ランダムに、市民アンケートについては、統計法上で1.6%以内でという決まりがあるものですから、5,500件以上ぐらいだったと思うのですが、中学生には当時、学校を通じてお願いをしたと思います。

教育長

中学2年生を確か対象として、何かやったような記憶があつてですね。

図書館長

庁内掲示版で出ているのは、前は田原市内の中学2年生（571人）に対してです。

教育長

2年生全員ですね。

太田委員

それがいつぐらいですか。

図書館長

調査機関は令和4年1月1日から7月22日です。

教育総務課長

やっていますね。3年後毎に。

太田委員

わかりました。

教育総務課長

企画部で行っております。

太田委員

そのアンケートの結果は、どこかでホームページで見れるのですか。

教育部長

見れます。

教育総務課長

ホームページに載っていると思います。

図書館長

市民意識調査報告書という中にあります。

太田委員

そうですか、わかりました。

教育総務課長

同じような質問が、ずっとあります。経年変化がそこで確認できると思います。

教育長

その他、今、お聞きしたいことがございましたら、出していただいで。

それでは、また先ほど言いましたように、あとからでも結構ですので、じっくりごらんになって何か気が付くことがありましたら、ご質問いただければと思います。

以上で報告事項を終わります。

次に「その他」ですが、事務局から何かございますか。

教育総務課長

その次の資料をお願いします。教育委員さんの出席日程の案でございます。

本日9月22日、この委員会が開催されています。それ以降ですが、10月2日には先ほどお話しがあった高崎委員さんの「教育委員辞令交付式」が11時から、市長室で行いますのでよろしくお願いしたいと思います。細かな日程は、時間については、このあとまた打合せしたいと思います。

10月の教育委員会につきましては、10月24日に午後1時半から開始する予定です。場所につきましては、政策会議室となりますので、南庁舎の4階になりますので、お間違いにならないようお願いしたい

と思います。

この頃、連続して大変恐縮なのですが、翌25日に、前回お話しをいたしました田原市制20周年の週間ですので、記念給食を予定しております。教育につきましては、小学校の現場でお願いするということで、委員のみなさんには、せっかくの機会でございますので、12時頃から給食センターで記念給食を行います。強制ではございませんので、ご都合のつく方でご出席をお願いしたいと思います。また、あと出欠はご連絡させていただきたいと思います。ご案内させていただきたいと思います。

最後に、11月の教育委員会につきましては、11月17日にこの場所で行いたいと思います。

以上、全体に対する出席依頼でございます。学校訪問の関係は、峠課長からお願いします。

学校教育課長

2学期の学校訪問ですが、9月27日から始まりまして、10月26日の研究発表、伊良湖岬小学校と田原南部小学校でございます。案内につきましては、その都度学校からの資料を送付させていただきます。

以上です。

教育総務課長

次のページに関連イベントがございます。関係の課長から説明がありましたらお願いします。

文化財課

文化財課です。

博物館で、本日、ご案内させていただいた封筒があると思いますが、開会式、市制20周年記念で、特別展「ドナルド・キーンと渡辺崋山」を準備しております。10月7日の10時半から開会式を博物館で行います。ぜひ、出席をしていただけるとありがたいと思います。10時半から博物館で、30分ほどテープカット等を含めて行うイベントがございます。

続いて、イベントの先ほどの表を見ていただくと、10月7日の午後から、特別展の記念イベントとして、対談というのを予定しております。こちらは午後1時半からになりますが、ドナルド・キーン先生の息子さんでありますキーン誠己さんという方と、渡辺崋山という本を翻訳していただいた角地幸男さんという方の、お二人によってキーンさんを語る対談がございますので、そちらもお時間が許せばぜひ、聞いていただければありがたいと思います。

11月3日、金曜日の祝日につきましては、こちらも1時半から、芥川賞作家で蒲郡出身の平野啓一郎さんの講演会を、崋山会館レセプションホール、対談もレセプションホールで行いますので、そちらにもぜひ、お時間が許せば出席していただければありがたいと思います。

開会式につきましては、我々はネクタイにスーツという形をとらせていただきます。できれば、開会式に出席される予定の方につきましては、事前に連絡をしていただきますと、お席を準備させていただきますので、出席できるという方がいらっしゃいましたら、お申し出い

図書館長

ただければと思います。後ほど電話でも構いませんので、よろしくお願い致します。

また、対談、講演会につきましても、同様に事前に連絡をしていただければ、席を確保いたしますので、よろしくお願いしたいと思います。

以上です。

図書館も1つだけ入っているのですが、11月1日から1月11日にかけて、豊橋中央図書館ができて110周年、田原が今年市制20周年ということで、連携で一緒に企画展をやろうということで「みんなでつくる本の街」田原や豊橋で活躍する人たちに選書をお願いしまして、一箱の中にその人が選んだ本を作って、その本棚をたくさん並べて、それを街のように見立ててみなさんに見ていただくような企画をしておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

スポーツ課

スポーツ課です。9月30日、先ほどお話しがありましており、オフロードトライアスロンを筆頭に、10月末までに複数のイベントがございます。オフロードトライアスロンの実施に合わせて行われる9月30日のHANTONE、10月1日スポーツギネス大会、10月15日はパリオリンピックの予選会であるMGCマラソンのパブリックビューイング、10月末からポッチャ教室というものも始めていきますので、本日この会議が終わりましたら、チラシを配布させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

教育長

今、それぞれの課から説明がありましたけれども、一括して何かご質問がありましたら、お願いしたいと思います。

ご案内が多くて本当に申しわけありませんが、ご都合がございましたらぜひということで、よろしくお願いしたいと思います。

そのほか、事務局から何かありましたらお願いします。

教育総務課長

特にありません。

教育長

委員さんからありましたら。

金田委員

すみません、お願いします。

教育長の報告事項の中で、コロナが広がって学級閉鎖が何校かあると言っていたと思うのですが、何校くらいあるのでしょうか。

教育長

今日、報告がきたところまででは、6校で9学級ですね。

1校の学校の中で複数の学級があると思われます。

金田委員

それは、点々と発生しているのでしょうか。

教育長

そうですね、あちこちで起こっています。どこかに固まっているということはありませんので。

金田委員

5類になってから、待機期間が短くなっているのですか。

教育長

いや、感染した子について5日間というのは変わらないですね。

金田委員

一緒なのですね

学校教育課長
金田委員
学校教育課長

5類になって、濃厚接触者という定義はなくなりました。

ああ、そういうことですね。

濃厚接触者がそこまで隔離されることはなくなりました。感染した子については、5日間の待機ということです。それから学級閉鎖等については、当然インフルエンザと一緒にですから、感染者が増えたり、増える傾向があれば学級閉鎖や学年閉鎖について、校医さんと教育委員会と相談して、検討していくことになります。

金田委員
教育長

ありがとうございます。

インフルエンザも少し出ていまして、学級閉鎖まではいかなくて、まとまった感染者数ではないですが、ちょこちょこ出ていると聞いております。

金田委員
田中委員
学校教育課長

わかりました。

高校はインフルエンザが多いと聞きましたけど。

成章高校が、インフルエンザで休校になっていますね。

市内の小中学校ですと、インフルエンザよりもコロナで学級閉鎖等になっている傾向です。

教育長

その他、委員さんから何かございましたらお願いします。

よろしかったでしょうか。

それでは、特に他にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第9回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後2時26分

教育長

委員

委員